

7 議事概要

① 物品・役務等の競争入札案件

- (委員) No.33の平成29年度非正規雇用労働者待遇改善支援事業について、総合評価の中身は全国で統一されているのか。
- (労働局) 厚生労働省本省が決めた事業毎の配分がある。金額のみではない。
- (委員) 基準があるのですね。全国統一されているかが知りたかった。
- (労働局) 価格点と技術点が上下しているところがあるが、総合で上位のところは落札している。
- (委員) 事業の予定価格はどのようにして決めているのか。
- (労働局) 本省から細かく示されたものがあり、その内容に局独自の謝金額等を当てはめている。
- (委員) これらの契約内容については公表しているのか。
- (労働局) HP上で公表している。
- (委員) そうすると、1者のところは大体落札率が分かるのですね。
- (委員) No.9の各官署における庁舎機械警備業務委託契約について、落札率が低い。
- (労働局) 予定価格が新規参入を可能にするよう、機械設置するための金額を含んでいるため。今回の落札業者は以前から継続のため、新たに機械を導入しないことから安くなった。耐用年数が8年と聞いている。
- (委員) 警備がきちんとなされることが分かればよい。
- (委員) No.4の窓口受付機について、こちらも落札率が低いなぜか。
- (労働局) 窓口受付機は元々1件だったものを、No.2、4、5の3件に分けて入札しているもの。分けた理由は、各安定所に対応する業務(窓口数など)が異なり、仕様が異なることから、3箇所に分けることで新たに今回入札の業者が参加できることとなり落札率が下がったもの。
- (委員) 参加がC級のため、大手がとりやすいのかと思う。B級が入ると落札率が下がる。今回は手間をかけた努力が見受けられる。
- (労働局) 他局の状況も確認し、業者に問題がないことを確かめることができた。
- (委員) このままでよいので、改革を行ってほしい。
- (委員) No.18、19のプリンター、印刷機関連消耗品の購入に関しては、メーカーを指定して発注するのか。
- (労働局) 不具合が懸念されるので純正が求められているもの。
- (委員) No.18、19、20のプリンターのメーカーがあるが、予定価格の参考見積は1者だけなのか。
- (労働局) リコー製については複数取扱業者があるので、2者から見積を徴している。地元他に過去1者あり、声掛けをしているが参加がない。

- (委員) 今回辞退した業者は東京の業者との説明があったが、声掛けは県内のみか。遠方は対応が難しいので辞退なのか。
- (労働局) 県外はメーカーが卸す場合と、代理店が卸す場合がある。
- (委員) 平成27年は東京の業者が落札していたのに、なぜ辞退したのだろうと思う。
- (労働局) 送料がかかることもあるかもしれない。
- (委員) No.18や24、29の業者のように、独占しているところがあり、何年か1者が続く所は、見直しをするようにしているか。そのような決まりがあるか。
- (労働局) 内容ごとに他者が参加できるように入札にしているが、業務によっては特殊で他に実施するところがないかもしれない。
- 何年続いたらいけないという決まりはない。
- (委員) どうしてそのようになっているかの説明ができればよい。
- (委員) No.30、31の地域若者サポートステーションについては、金額が高くA級なのに、なぜB、C、D級まで参加してD級が落札しているのか。
- (労働局) 他局でD級を含めないと事業が実施できない例があり、本省指示により、この事業に関してはA～Dで可となっている。
- (委員) これを実施しているのは全国区で行っている事業者なのか。
- (労働局) それぞれの地域でできる法人が決まっていると思う。
- (委員) それぞれの会社が中身を分かっているのでしょうか。
- (委員長) 物品・役務等の競争入札案件については、適正と判断する。

② 物品・役務等の随意契約案件

- (委員) 今回の説明を聞いていると、全て代替性のないものばかりですね。
- そうだと、全て適正のようですね。
- (委員) 異議なし。
- (委員長) 物品・役務等の随意契約案件については、適正と判断する。